

屋外用 ブースター内蔵UHFアンテナ (家庭用)

UHF ANTENNAS with BUILT-IN BOOSTER

UHF ch.13 ~ 52

U2SWLA20B

U2SWLA26B

ブースター内蔵

75Ω用(F型端子)

水平偏波用

本機は水平偏波用のアンテナです。垂直偏波の地域では使用できません。
お住まいの地域の地上デジタル放送の偏波が分からないときは、販売店にご確認ください。

中・弱電界地域用

障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。

ブースター内蔵

内蔵されているブースターは、アンテナからのケーブルを長く配線したり、テレビやハイビジョンレコーダーなど、複数の機器にテレビ信号を分けたりするときに効果を発揮します。

目次

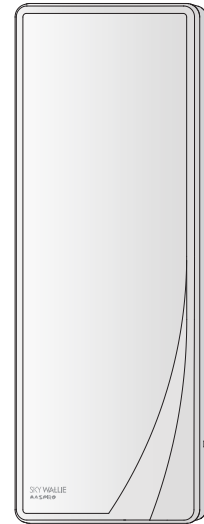
付属品	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
設置上のご注意	3
各部の名称	4
接続例	5
アンテナを壁面に設置する	5
アンテナをベランダ・マストに設置する	7
ブースター電源部を取付ける	8
ケーブルにF型コネクタを取付ける	8
アンテナにケーブルを接続する	8
ブースター電源部にケーブルを接続する	9
アンテナとブースター電源部との接続を確認する	9
アンテナの方向を調整する	9
アンテナの取外し方	10
ブースター・ミキサー・2分配器の取付方法	11
テレビがきれいに見られないときは	11
規格表	12
性能	12
保証書	12

取扱説明書

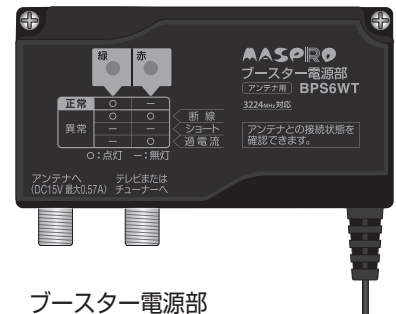
保証書付

SKY WALLIE

スカイウォーリー



ブースター内蔵UHFアンテナ



ブースター電源部
BPS6WT(付属品)
屋内用(屋外で使用しないでください)

本機には、接続ケーブルを付属していません。
設置場所に応じて、必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

付属品

防水キャップ	1個
F型コネクタ(5Cケーブル用)	1個
レンチ(10、11、17mm)	1個
壁面取付金具	1個
マスト固定金具	1個
マスト固定ボルト	2本
ブースター電源部	1台

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。



○記号は、禁止の行為を示しています。



●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

アンテナ



警告



- アンテナや付属品を包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかかると窒息し、死亡の原因となります。
- アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。



- 雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



注意



- 雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具を、そのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。



- 高所に取付けられる場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- ボルト・木ねじの締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。



- アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。
- テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できる壁面にしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。



- アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。
- 壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。

ブースター電源部



警告



- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉で挟んだり、熱器具に近付いたりしないでください。ACコードが破損して、火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ブースター電源部の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。



- ブースター電源部は、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テープクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。



- ブースター電源部のケースを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースター電源部の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。

警告

	●ブースター電源部を、風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。		●万一、ブースター電源部を落としたり、ケースを破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	
	●ブースター電源部に水をかけたり、濡らしたりしないようにしてください。ブースター電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が、ブースター電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。		●万一、煙が出ている、変な臭いや音がかかるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音声が出ないなどの症状があるときも、テレビと共にブースター電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。	
	●濡れた手で、ACプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。			●アンテナとブースター電源部は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと合わせて使用しないでください。火災の原因となります。
	●雷が鳴出したら、ブースター電源部およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。			●ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となることがあります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
	●万一、ブースター電源部の内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。			

注意

	●ブースター電源部は、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。		●ブースター電源部を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●ブースター電源部は、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けず、壁面取付用木ねじでしっかりと取付けてください。		●お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
	●ブースター電源部は、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。		●旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
	●ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。		●雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
	●ACコードは、結んだり、束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。		●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから、販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けしないでください。アンテナの性能が低下します。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、アンテナの掃除などには使用しないでください。

設置上のご注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトの変形や破損の原因となります。
- 壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。
- ブースター電源部をラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースター電源部を離してお使いください。
- ブースター電源部は、温度が上昇しないように、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。
- ブースター電源部は屋外で使用しないでください。

各部の名称

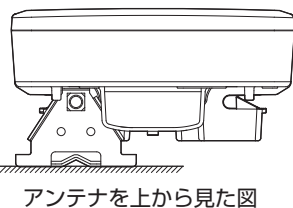
前面



ご注意

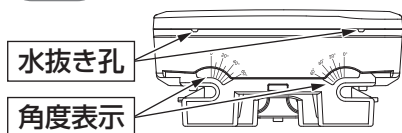
- 前面で地上デジタル放送を受信します。
- この面を送信塔の方向に向けられる場所に設置してください。

↑送信塔の方向



アンテナを上から見た図

底面

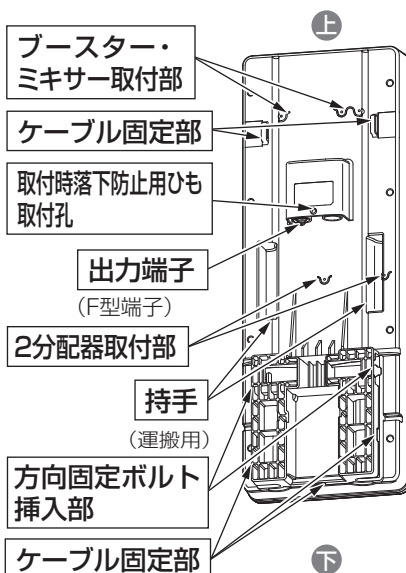


水抜き孔
角度表示

ご注意

- 必ず、水抜き孔が下側になるように設置してください。
- 水抜き孔をテープなどでふさがないでください。内部に水がたまり、故障の原因となります。

背面



ブースター・ミキサー取付部

ケーブル固定部

取付時落下防止用ひも取付孔

出力端子 (F型端子)

2分配器取付部

持手 (運搬用)

方向固定ボルト挿入部

ケーブル固定部

レンチに記載されている英字について

アンテナの設置・方向調整で付属のレンチを使用するときは、本紙の文中に記載されている英字の部分を使用して、設置・方向調整を行なってください。

D. マスト固定ボルト締付用(10mm)

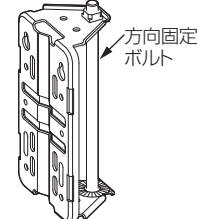
C. 取付時落下防止用ひも取付孔

A. F型コネクタ締付用(11mm)

B. 方向固定ボルト締付用(17mm)

付属品

壁面取付金具(1個)

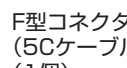


方向固定ボルト

マスト固定金具(1個)



マスト固定ボルト(2本)



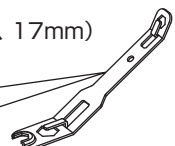
F型コネクタ (5Cケーブル用) (1個)



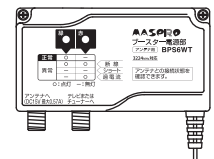
防水キャップ (1個)



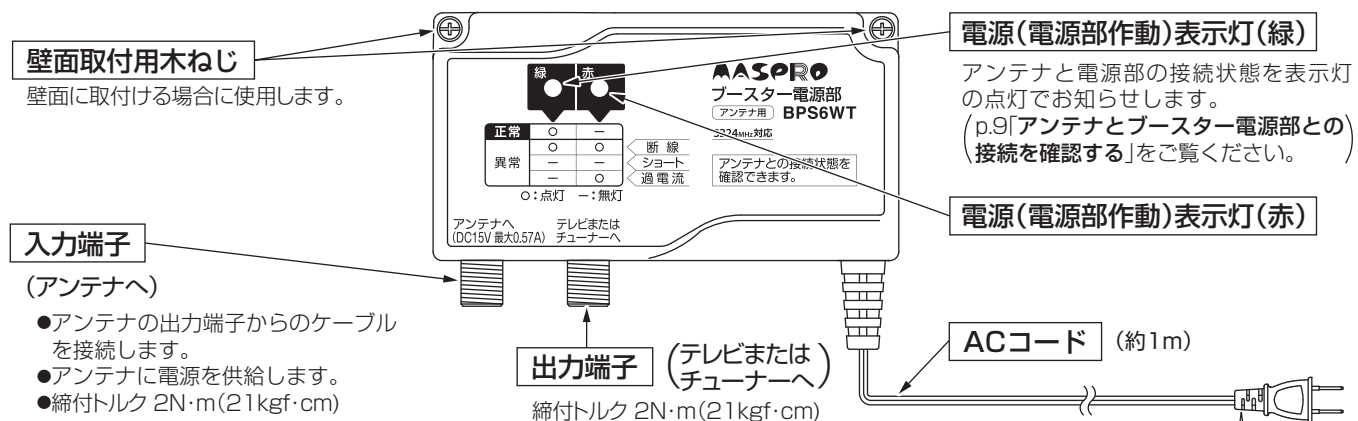
レンチ (10、11、17mm) (1個)



ブースター電源部 BPS6WT (1台)



ブースター電源部 BPS6WT



壁面取付用木ねじ

壁面に取付ける場合に使用します。

入力端子

(アンテナへ)

- アンテナの出力端子からのケーブルを接続します。
- アンテナに電源を供給します。
- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

出力端子

(テレビまたはチューナーへ)

締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

電源(電源部作動)表示灯(緑)

アンテナと電源部の接続状態を表示灯の点灯でお知らせします。
(p.9「アンテナとブースター電源部との接続を確認する」をご覧ください。)

電源(電源部作動)表示灯(赤)

ACコード (約1m)

ご注意

- ブースター電源部は、アンテナに内蔵されているブースターに電源を供給するものです。
- ブースター電源部は、必ず使用してください。ブースター電源部を使用しないと、テレビが見られません。

ご注意

ACプラグ(AC100V)は、工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。



警告

アンテナとブースター電源部は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他のメーカーのものと合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

接続例

UHF、BS・110°CS受信

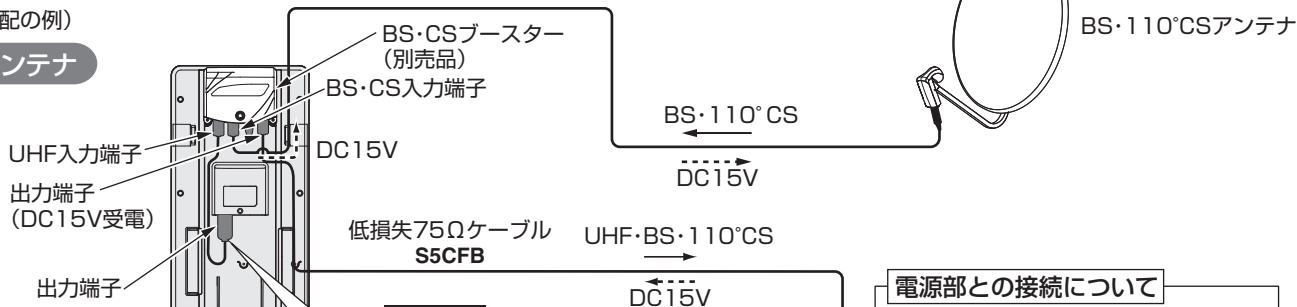
4K・8K放送を伝送する場合、4K・8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。

ご注意

- ACプラグ(AC100V)は、工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。
- アンテナとブースター電源部の間で使用する分配器は、「1端子電流通過型」をおすすめします。「全端子電流通過型」を使用すると、電圧降下の影響で配線できる距離が短くなります。

(4分配の例)

アンテナ



ご注意

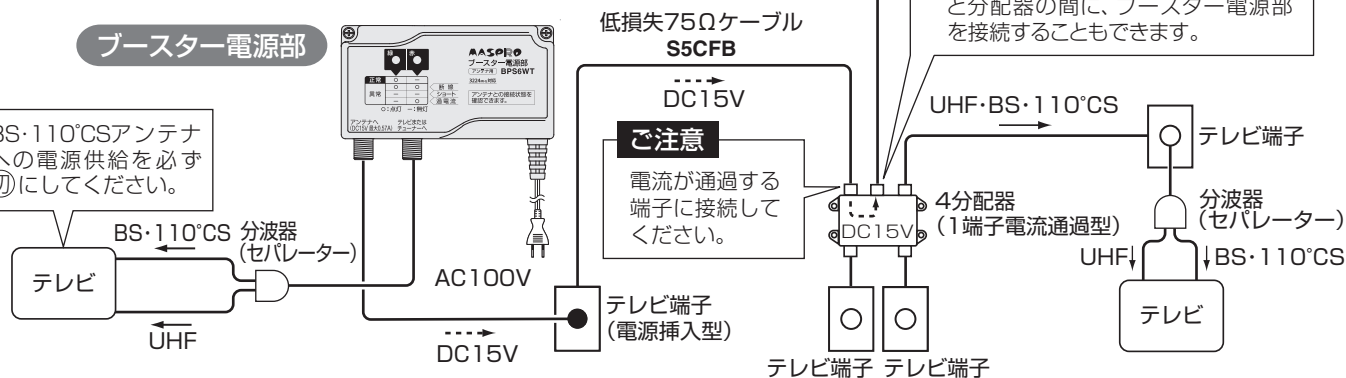
出力端子にUHFラインブースターを接続しないでください。アンテナに電源が供給できなくなります。

電源部との接続について

- 分配器とテレビ端子を使用しないで、アンテナ(別売のBS・CSブースター)とブースター電源部を直接、接続することもできます。
- アンテナ(別売のBS・CSブースター)と分配器の間に、ブースター電源部を接続することもできます。

ブースター電源部

BS・110°CSアンテナへの電源供給を必ず切にしてください。



アンテナを壁面に設置する

壁面に壁面取付金具を設置した後、アンテナ本体を壁面取付金具に組付けます。

壁面設置に必要なもの

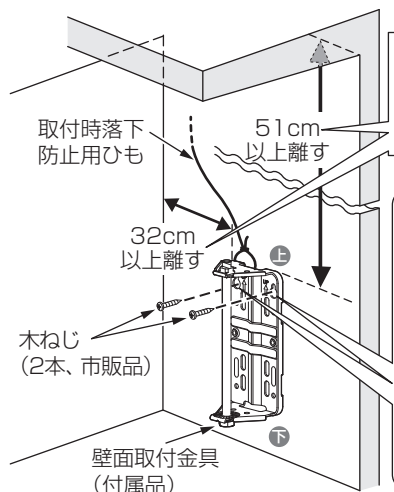
- 取付けには、⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ねじやコンクリートアンカーを別途ご用意ください。

1. 設置する場所での受信確認 重要

壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。

2. 壁面取付金具の仮固定

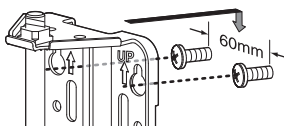
壁面取付金具の上下を確認(右下図参照)し、市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)2本で壁面との垂直を確認して仮固定します。



- 壁面取付金具は、垂直に取付けてください。垂直にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。
- 壁面取付金具は、軒より51cm以上、アンテナを挿入する側の壁からは32cm以上離して取付けてください。

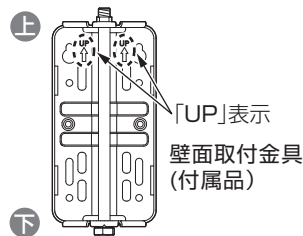
設置のポイント

- 木ねじを先に2本取付け、壁面取付金具の○孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。
- 木ねじは、壁面取付金具の○孔に合わせると、正しい間隔で取付けられます。



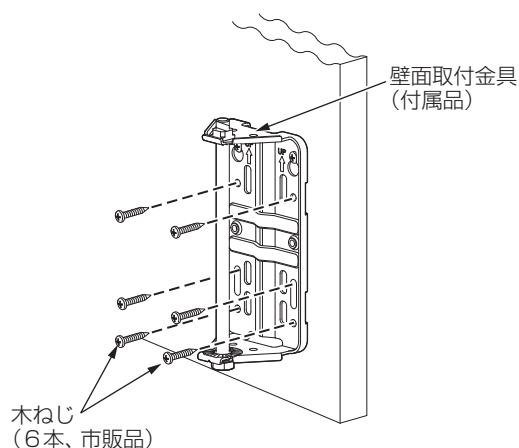
使用する木ねじについて

木ねじは、取付強度が充分確保できる長さのものをお使いください。



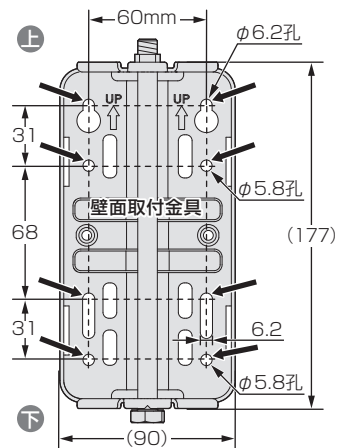
3. 壁面取付金具の取付け

市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ
(または呼び径4～5mmのタッピング
ビス)6本で壁面にしっかりと固定し
ます。



コンクリートアンカー取付寸法

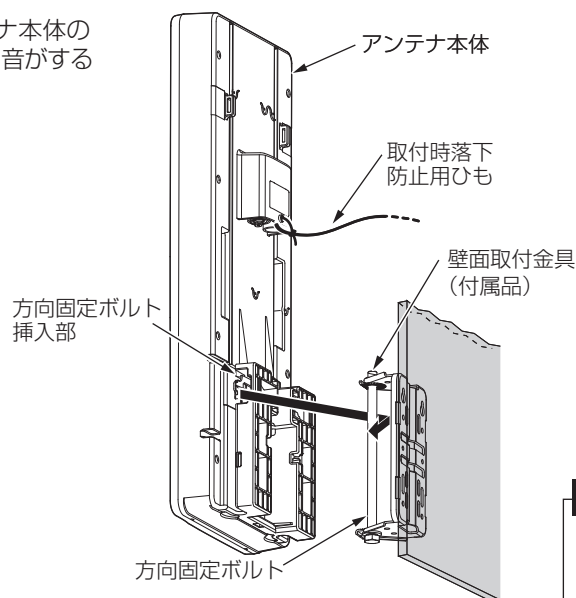
コンクリート製の壁面に取付ける場合、
市販のコンクリートアンカーを下図の
矢印の位置(8か所)に取付けてください。



()内の値は、壁面取付金具
の外形寸法です。

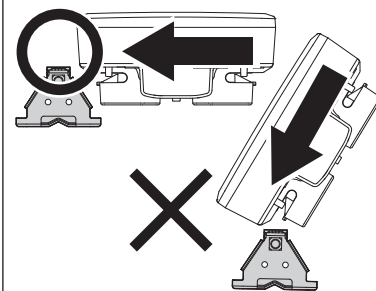
4. アンテナ本体の取付け

方向固定ボルトにアンテナ本体の
方向固定ボルト挿入部を、音がする
まで挿入してください。



アンテナを取付けるときのご注意

アンテナ本体は、壁面取付金具に対して
水平になるように挿入してください。
アンテナの故障の原因となります。



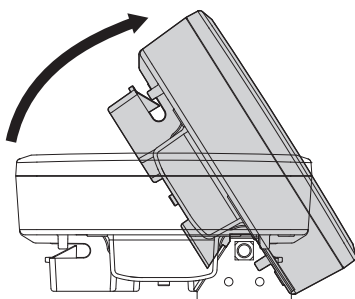
アンテナの設置が完了したら

p.8「ブースター電源部を取付ける」、「ケー
ブルにF型コネクターを取付ける」、「アン
テナにケーブルを接続する」を行なってくだ
さい。

アンテナを取付ける位置について

上面

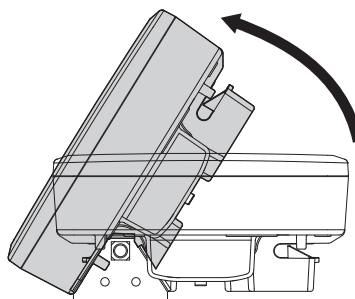
右方向へ回転



送信塔が右側にある場合
壁面取付金具をアンテナ本体
の右側に取付けます。

上面

左方向へ回転



送信塔が左側にある場合
壁面取付金具をアンテナ本体
の左側に取付けます。



壁面取付金具
(付属品)

アンテナをベランダ・マストに設置する

ベランダ・マスト設置に必要なもの

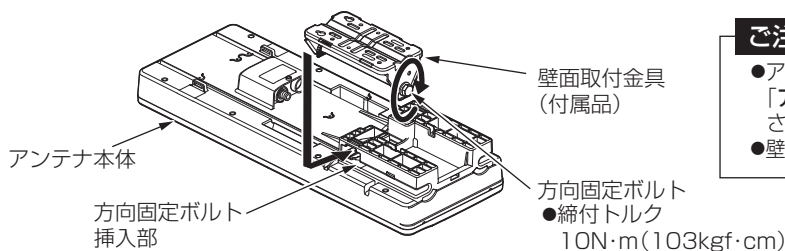
取付けには、付属のレンチが必要です。

ご注意

アンテナを地面などに置くときは、アンテナの前面に傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

1. 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部に方向固定ボルトを、音がするまで挿入し、方向固定ボルトを付属のレンチ(B)で締付けます。[ベランダ(角柱)に取付けるときは、仮締めでかまいません]



ご注意

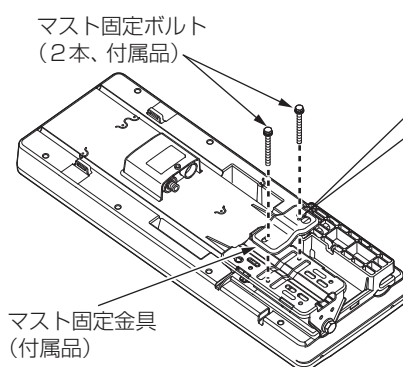
- アンテナ本体に壁面取付金具を取付けるときは、p.6「アンテナを取付けるときのご注意」を参考にしてください。
- 壁面取付金具は上下逆に取付けしないでください。

壁面取付金具を取付ける位置

アンテナをベランダに取付ける場合、p.6「アンテナを取付ける位置について」を参考に、壁面取付金具を取付ける位置を決めてください。マストに取付ける場合、左右どちらにも取付けることができます。

2. マスト固定金具を取付ける

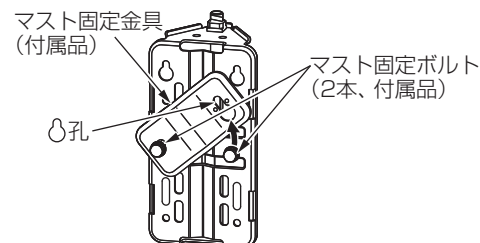
付属のマスト固定金具を付属のマスト固定ボルト(2本)で取付けます。



マスト固定金具の取外し

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトから外します。

(角柱・マストに取付後、再度○孔をマスト固定ボルトの頭にはめます。)

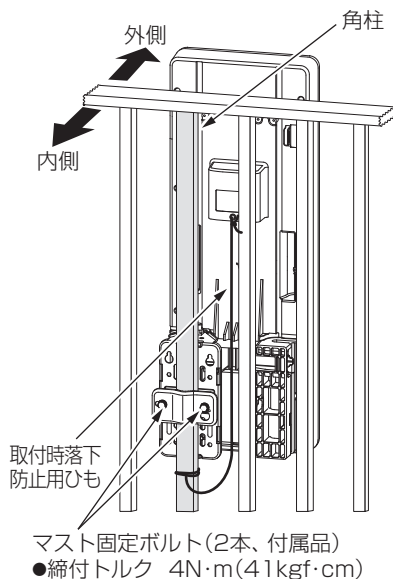


3. ベランダ・マストに取付ける

ベランダに設置

適合角柱寸法
25×25～45×45mm

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



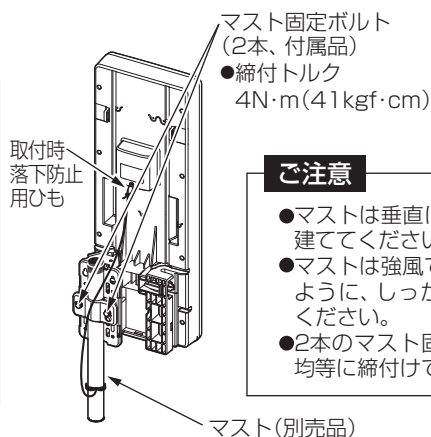
ご注意

- 設置する前に、ベランダのフェンスの強度を確認してください。
- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- コンクリートフェンスなどに取付ける場合、別売のコンクリートフェンスベースをご使用ください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。

マストに設置

適合マスト径
φ22～49mm

マストを通して、マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)をアンテナが左右に動く程度に仮締めします。



ご注意

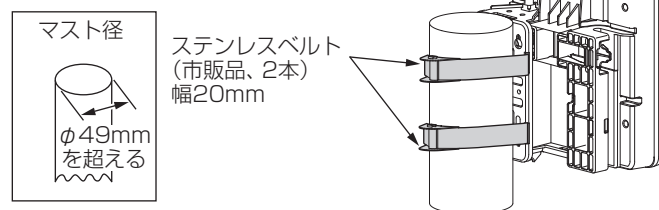
- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。

アンテナの設置が完了したら

p.8「ブースター電源部を取付ける」、「ケーブルにF型コネクターを取付ける」「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。

ステンスベルトでの取付け

直径が49mmを超えるマストに取付ける場合、市販のステンスベルト(2本)を使用してください。



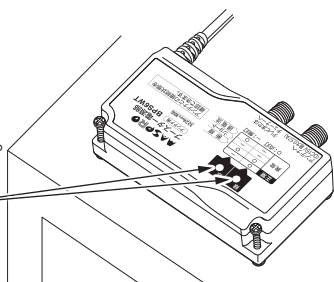
ブースター電源部を取付ける

ブースター電源部は、据置きのほか、板壁面に取付けて設置することもできます。

据置き

電源(電源部作動)表示灯を上側にして、テレビラックの上などに横置きにします。

電源(電源部作動)
表示灯

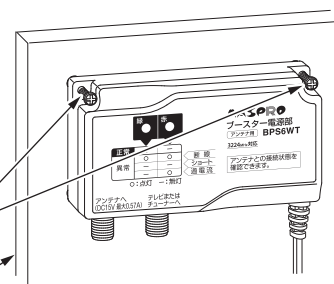


板壁面

ドライバーで、ブースター電源部に付いている壁面取付用木ねじ(2本)を板壁面にねじ込みます。

壁面取付用木ねじ
(2本)

板壁面



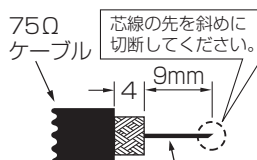
ケーブルにF型コネクタを取付ける

F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタは正しい方法で取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

①ケーブルを加工します。

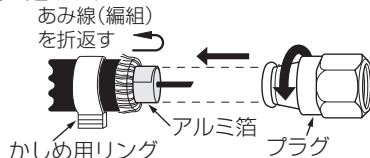
(加工寸法は原寸大です)



芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために、必ず取除いてください。

②プラグを取付けます。

1. かしめ用リングにケーブルを通します。
2. あみ線(編組)を折返します。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。



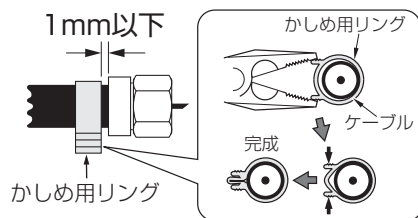
あみ線・アルミ箔の ショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



③かしめ用リングをペンチで圧着します。

プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着します。



芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

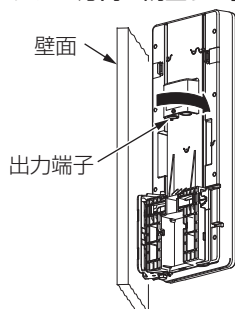
アンテナにケーブルを接続する

ご注意

- 75Ωケーブルには、必ず、付属の防水キャップを通して、出力端子に取付けてください。
- 防水キャップを取付けしないと、雨水が浸入してショート状態になり、受信不良になります。
- F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、付属のレンチ(A)で締付け、付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。
- コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます。

ケーブル接続のポイント

アンテナを横に向けるとケーブルが接続しやすくなります。p.9「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。



- 付属の防水キャップは、矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- 防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

出力端子

F型コネクタ(付属品)
●締付トルク2.4N・m(25kgf・cm)

ご注意

防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

ケーブルの接続が完了したら

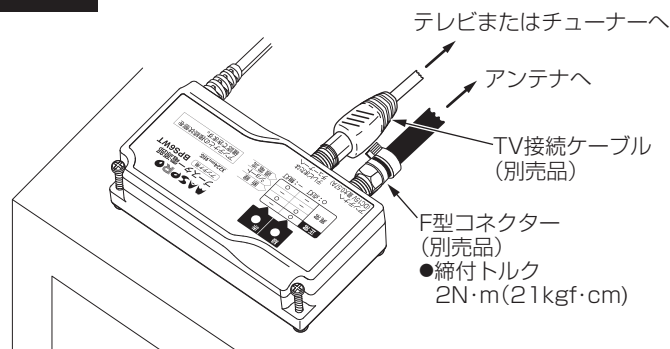
p.9「ブースター電源部にケーブルを接続する」を行ってください。

ブースター電源部にケーブルを接続する

アンテナからのケーブルを、ブースター電源部に接続して、F型コネクターを指定のトルクで締付けます。

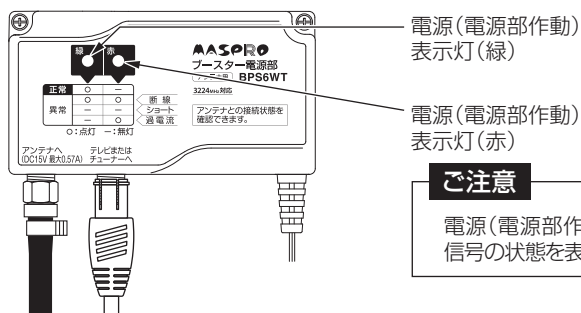
ブースター電源部にケーブルの接続が完了したら

下記「アンテナの方向を調整する」を行なってください。



アンテナとブースター電源部との接続を確認する 異常お知らせ機能

設置工事がすべて終了したら、ACプラグをACコンセントに差込んで、アンテナとブースター電源部の接続状態を電源(電源部作動)表示灯で確認します。



異常のときは

- ① ACプラグをACコンセントから抜いてください。
- ② 下表を参考に、原因を取除いてください。
- ③ ACプラグをACコンセントに差込んでください。

ご注意

電源(電源部作動)表示灯は、アンテナとブースター電源部の接続状態を表示するもので、テレビ信号の状態を表示するものではありません。

表示灯		作動状態	原因	処置
緑	赤			
点灯	無灯	正常	———	———
点灯	※1	断線 (異常)	アンテナに電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。(p.8「ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。) ●アンテナとブースター電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。 ●アンテナとブースター電源部の間に、電流通過しない機器が接続されていないか確認してください。
無灯		ショート (異常)	アンテナに、正常に電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。(p.8「ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。) ●アンテナとブースター電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。※2
無灯	点灯	過電流 (異常)	出力電流が規格値(0.57A)を超えている。	UHFアンテナ、BS・110°CSアンテナ、ブースター以外に、電源が供給される機器が接続されて、過電流になっていないか確認してください。

※1 アンテナとブースター電源部を接続しないで、ACプラグをACコンセントに差込むと、断線と判断して、緑と赤の表示灯が点灯しますが、本器の異常ではありません。

※2 BS・110°CSアンテナに給電している場合、その配線も含まれます。

アンテナの方向を調整する

アンテナの方向調整に必要なもの

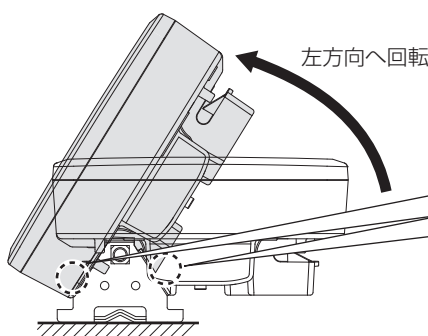
方向調整には、付属のレンチが必要です。

マスト(円柱)やサイドベースに取付けたときは、マスト固定ボルトをゆるめて方向を変えてください。(p.10「4.アンテナを固定する」参照)

1. アンテナの方向を変える(壁面または角柱に設置した場合)

方向の変え方 左方向へ向けるときの例(アンテナを上から見た図)

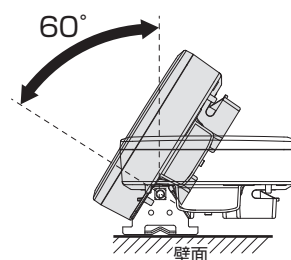
アンテナ本体を左方向へ回転させます。



⚠ 注意

アンテナを左右いっぱい回転させたとき、アンテナと壁面取付金具で手をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。

アンテナの可動範囲

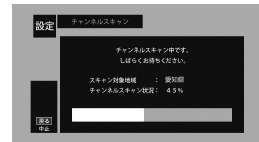


壁面取付金具を右側へ取付ける場合も、可動範囲は60°です。

2. 受信チャンネルを設定する

- 初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、テレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルを設定します。
- チャンネルスキャン後、表示されないチャンネルがある場合、アンテナ方向調整をしながら、再度チャンネルスキャンをしてください。

「チャンネルスキャン」の表示例



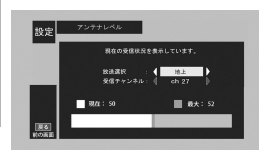
3. 方向調整をする

テレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に回転させてアンテナの向きを調整してください。
(全チャンネルが映ることを確認してください)

ご注意

- 画面の表示は一例で、使用するテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 正確な方向調整のために、別売のレベルチェッカーを使用されることをおすすめします。

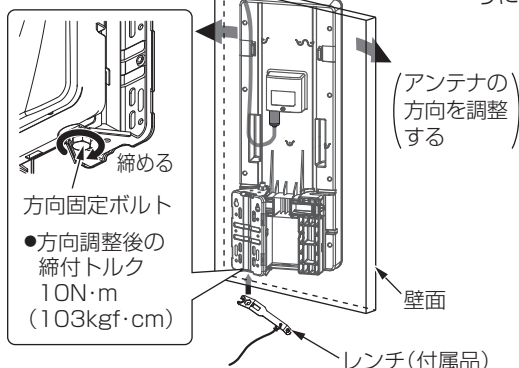
「受信レベル」の表示例



4. アンテナを固定する

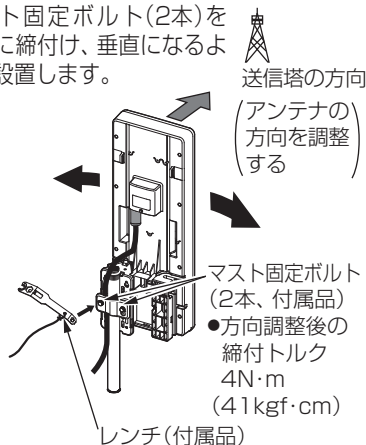
壁面設置

調整後、付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを締付けてください。



マスト設置

調整後、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



ご注意

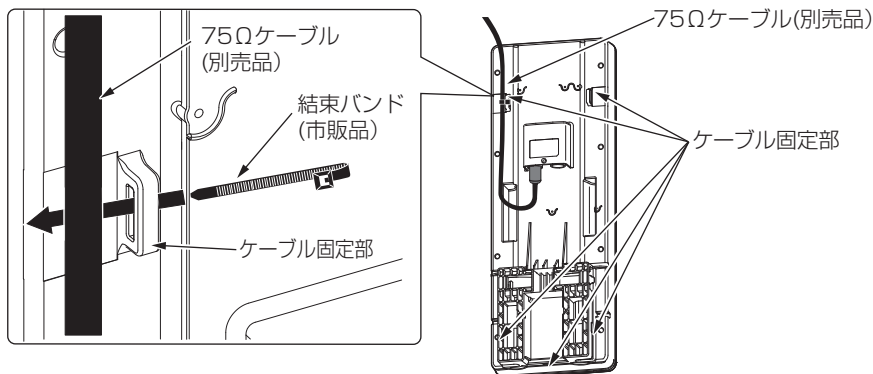
- 障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。
- 受信レベル(アンテナレベル)は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- 設置後に建物などの環境変化により受信できなくなることがあります。

ケーブルの引き回し例

アンテナ背面のケーブル固定部に市販の結束バンドを通し、ケーブルを固定することができます。

ご注意

別売の75Ωケーブルを引き回す場合、ケーブルの曲げ半径を35mm以上にしてください。受信できなくなる場合があります。

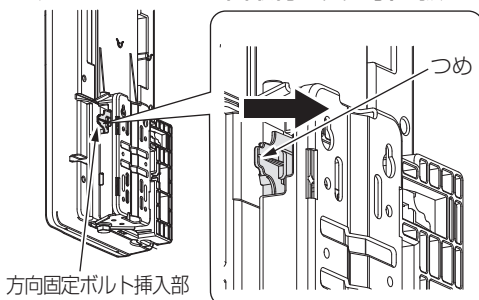


アンテナの取外し方

1. 方向固定ボルトをゆるめる

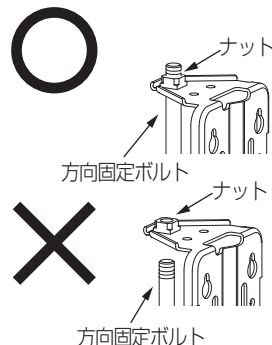
付属のレンチ(B)で方向固定ボルトをゆるめます。

2. アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部のつめを起こしながら、壁面取付金具を引き抜く



ご注意

上面のナットから方向固定ボルトが抜けないようにゆるめてください。



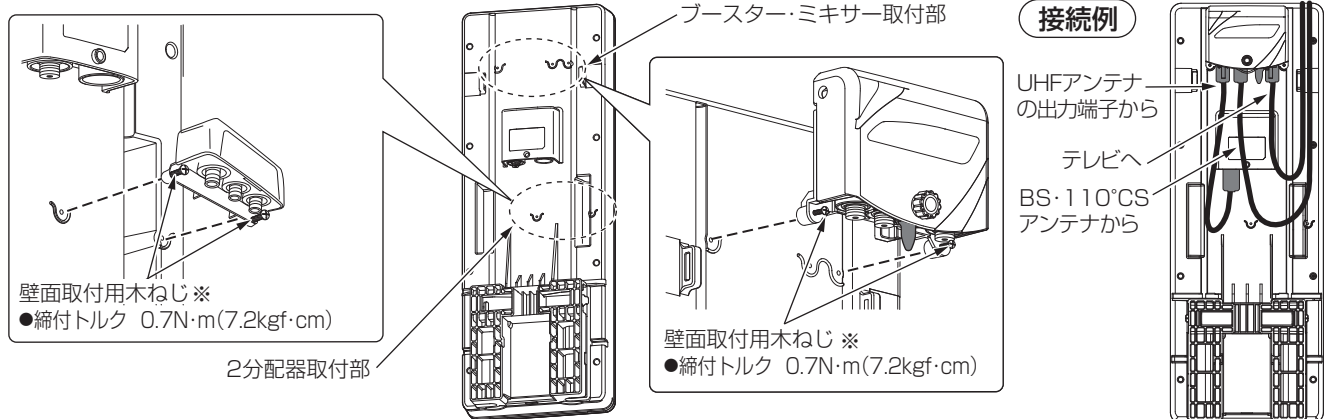
ブースター・ミキサー・2分配器の取付方法

アンテナ背面に別売のブースターなどを取付けることで、スッキリと設置することができます。

アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部または、2分配器取付部に、別売のブースターなどに付いている壁面取付用木ねじ（2本）をねじ込みます。また、ブースターまたはミキサーと、2分配器は同時に取付けることができます。

ご注意

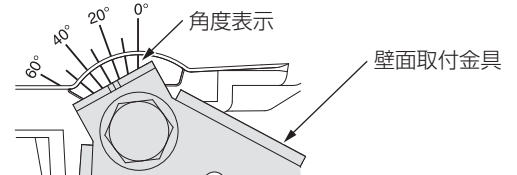
- アンテナを壁面・ベランダに取付ける前に、ブースター・ミキサー・2分配器を取付けてください。
- ブースターのふたを開けるときは、アンテナを左右60°傾けてください。
- 当社製のブースター・ミキサー・屋外用2分配器以外は取付けることができません。



※ ブースター・ミキサー・2分配器の蝶ナット、Uボルト、マスト取付金具は取外してください。

アンテナ角度の再調整方法

ブースターの利得調整後など、アンテナの角度を再調整する場合、アンテナ本体の底面に記載されている角度表示を目安にしてください。



テレビがきれいに見られないときは

画像が出ない

原因	処置
コネクタの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	●コネクタが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。p.8「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。 ●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。p.8「アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。
信号が来ていない。	●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。p.8「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。 ●F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線（編組）やアルミ箔が触れていないか確認してください。p.8「ケーブルにF型コネクタを取付ける」をご覧ください。
受信ができていない。	再度方向調整をしてください。 p.9「 アンテナの方向を調整する 」をご覧ください。
電源が供給されていない。	ブースター電源部のACプラグをACコンセントに差し込んでください。

画像にモザイク状のノイズが出ている



原因	処置
受信レベルが低い。	●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。p.9「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。 ●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。
受信レベルが高い。	症状が消えるように、アンテナの方向をずらして受信レベルを下げてください。

規格表

このアンテナを使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。

アンテナ

水平偏波用

MASPRO

項目	U2SWLA20B	U2SWLA26B
受信チャンネル	ch.13 ~ 52	
アンテナ利得(感度)	7.8 ~ 9.8dB(実力値)	8.4 ~ 10.2dB(実力値)
総合利得 ※1	26 ~ 34dB	27 ~ 35dB
出力レベル	90dB μ V	
VSWR	2.5以下	
前後比	10 ~ 17dB	12 ~ 18dB
半値角度	72 ~ 79°	68 ~ 77°
インピーダンス	75 Ω (F型端子)	
電源	DC15V 0.08A	
耐風速	50m/s	
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕40℃	
適合マスト径	マスト: ϕ 22 ~ 49mm 角柱 : 25×25 ~ 45×45mm	
外観寸法 ※2	577(H)×210(W)×118(D)mm(壁面取付時) 577(H)×210(W)×175(D)mm(ϕ 49mmマスト取付時) [アンテナ部: 577(H)×210(W)×58(D) ※3 mm]	620(H)×240(W)×118(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×175(D)mm(ϕ 49mmマスト取付時) [アンテナ部: 620(H)×240(W)×58(D) ※3 mm]
質量(重量)	約2.0kg ※4 アンテナ本体: 約1.6kg	約2.3kg ※4 アンテナ本体: 約1.9kg

※1 アンテナ利得+ブースター利得

※2 突起部を除く

※3 コネクター部、壁面取付金具固定部を除く

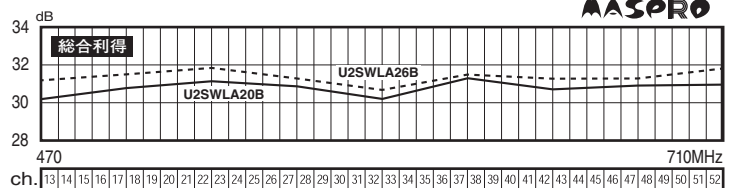
※4 壁面取付金具を含む

ブースター電源部

MASPRO

項目	規格
伝送周波数	10 ~ 3224MHz
入力電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	2.7W
出力電圧(電流)	DC15V(最大0.57A)
入・出力インピーダンス	75 Ω (F型端子)
挿入損失	2dB以下
VSWR	2以下
使用温度範囲	⊖10 ~ ⊕40℃
外観寸法	56(H)×105(W)×34(D)mm
質量(重量)	約185g

性能



Master of Production
生産の覇者

ブースター内蔵UHFアンテナ保証書

お客様住所			
TEL.	—		
★お客様お名前	様		
★保証期間販売店記入欄)			
お買上げ日	年	月	日から1年間
★販売店名・住所販売店記入欄)			
TEL.	—		

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。
本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

MODEL ☐ U2SWLA20B、☐ U2SWLA26B (お買上げの製品の型式に)

無料修理規定

- 取扱説明書などの注意にしたがった正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
 - ・本書のご提示がない場合。
 - ・不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入
 - ・お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ・のりない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
 - ・他の機器などにより誘発する故障および損傷。
 - ・本書の字句を書換えられた場合。
 - ・一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
 - ・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障およびご使用上の誤りによる故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様の要望により、有料修理いたします。

持込修理

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 0570-091119



ナビダイヤル®。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244

受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

JAN., 2022

